

表を認めると説明している。学力テストの結果をどう生かすのか、成績の公表にはどう対処するのか、成績公表した町長に対する見解と漏えいや公表についてはどうか。文部科学省は小学校の英語の開始時期を前倒しする方針を固めているが、本町での見解と考えは。

また、文科省は土曜授業の導入を検討表明し、さらに費用の一部を補助するなど、支援に力を入れる考えです。月1回土曜授業を始める町もあるが、本町での実施に対する考えと見解を伺います。

**福井町長**

学力テストの結果は、将来の進路を決める最も重視されている項目であり、学校の学力向上や優秀な人材を輩出するため、他校と学力を比較し、今後の対策を立てるため結果を公表することはいつの選択肢であると思います。一方、個々の児童生徒の能力に応じた指導を行うべきである、地域や国土の安全を守るため真



小学校の外国語活動

に必要な人間を育成することや、人間愛にあふれた人間を育てることも教育の努めであるとのご意見もあり、子ども達のことを一番に考え行動している先生や教育長、教育委員会の判断を最優先したい。

**峯野教育長**

小中学校とも学力向上検討委員会でテストの結果を踏まえ教育活動の工夫、改善に生かしています。また、一貫教育部会の中で小中の連続性を大切にした教育活

動を推進したい。学力テスト公表について、本町教育委員会でも否定的な意見が多く、他の動向や意見を聞きながら慎重に対応したい。小学校の英語教育については、早い時期から親しむことは、子どもの世界観や好奇心を広げ、英語に対するモチベーションの向上やコミュニケーション能力の素地づくりに役立つと考えており、人材の確保や財源の確保、研修体制の整備など、条件整備も必要と考えられています。

土曜授業の実施については、スポーツ少年団や部活動の大会などの行事が土曜日に実施されており、調整が必要で、教職員の代休の確保の課題もあり、今後、県教委が進めている基本方針を参考にし、協議をしていきたい。

**自転車事故防止対策は**

**一山議員**

自転車走行に対する交通ルールが定められましたが、早く目的地に着きたいという思いがあり、自動車、歩行者が来なければ安全、いつも通っている道だから安心という思い込みを持つ人も多く、約53%が出合頭の事故で、近年高齢者の自転車による事故が増加傾向にあり、全国的にも高齢者の自転車での安全対策の取り組みに多くの自転車教室、講習会が実施されています。参加された方からは、勉強になった、参加してよかつ

た、これからは気を付けて行きたいなどの声も寄せられているが、高齢者安全自転車講習会実施に対する考えと小中学校における自転車安全講習、指導はどのようにしているのかお伺いします。

**福井町長**

安全講習会は、海部郡交通安全教育推進協議会が主導し実施しており、小・中学校の学校安全年間計画とも調整し進めており、街頭キャンペーン、親子安全教室、保育園、小中学校での安全教育、高齢者交通安全教室、自転車大会など警察署と連携し、行事を実施しており、特に高齢者に対しては、施設で啓発ビデオの上映や人形劇などを行っている。また、中学校で学校安全の日に教職員で自転車点検や立哨指導を行い、自転車の模範走行の指導や交通マナーの順守の徹底を図っている。高齢者向けの実技講習は、海部郡交通安全教育推進協議会や警察とも協議し、実施を検討したい。